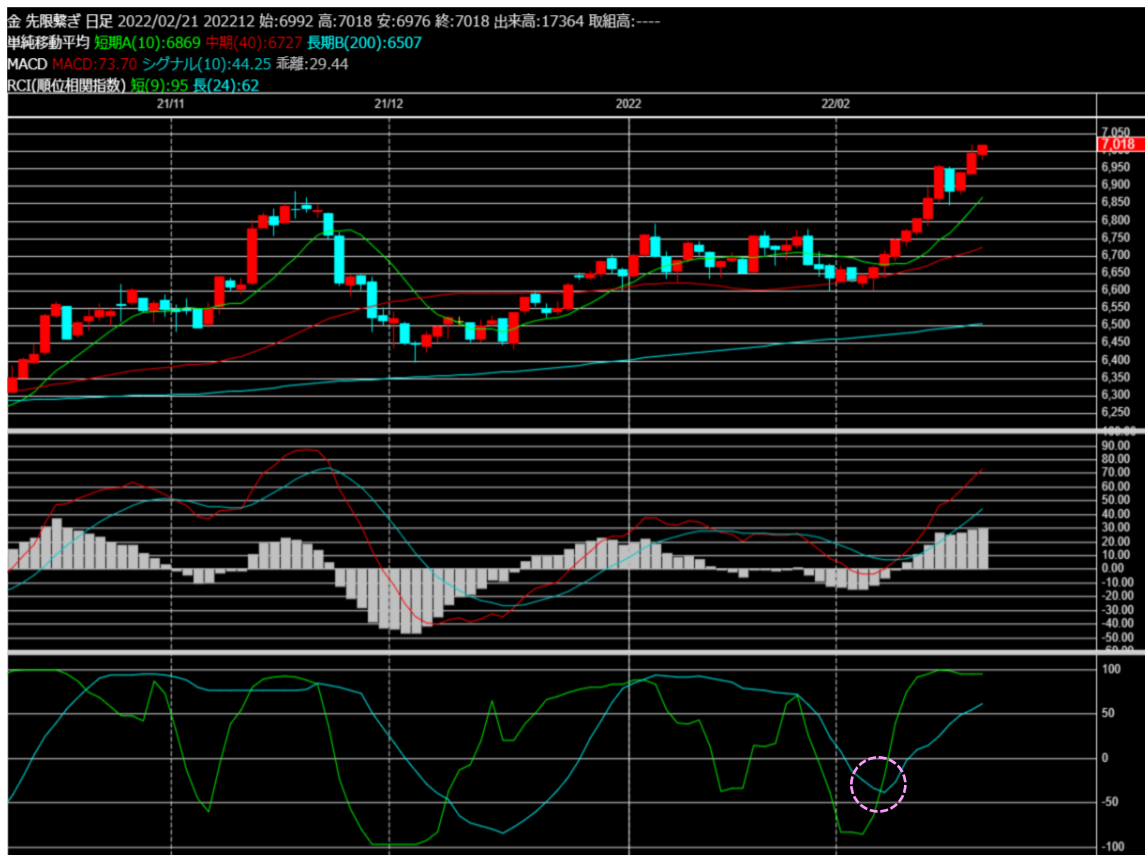


＜金標準先物、信用への投資から質への逃避の時間・・・＞



(出所：オアシス)

2000 年にブッシュ大統領が就任し、それまでの株価を主体とした「信用への投資」の時代から、2008 年以降は原油やトウモロコシ、金価格が上昇する「質への投資」への時代と変化している。

今回は新型コロナ・ウイルスの感染拡大に伴う経済活動をストップするロックダウンからワクチン接種の進展やコロナの弱毒化で景気回復に流通回復の遅れを受けたサプライチェーンの混乱が要因であるインフレ高を受けた金融政策の変更と、ウクライナ情勢でプーチン大統領のウクライナ侵攻懸念を受けた地政学的なリスクの高まりの重なりを受けて、先週にダウ平均は 1000 ドル安、長期金利は 0.1%低下している。また NY 金は 59.6 ドル高と上昇を行っており、「信用への投資」から「質への逃避」の時代へと変化している。

そのため金標準先物は 24 日の米国務長官とロシア外相の協議如何では 2020 年 8 月の高値 7032 円を試す可能性は高まると予想される。

＜テクニカル＞

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では **MACD** と **シグナル** が上昇を続けており、RCI でも **短期** が高値を維持し、**長期** が上昇を続けるなど強気を維持されている。ただ日足が **10 日移動平均線** と乖離しており、目先 6900 円に向けた調整安には注意が必要と思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 375,000 円(2022 年 2 月 21 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 2 月 21 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>